

意見書案第5号

女性差別撤廃条約の「選択議定書」の批准を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を求める。

令和2年6月26日提出

提出者 中間市議会議員 田口澄雄

賛成者 〃 柴田芳信

女性差別撤廃条約の「選択議定書」の批准を求める意見書

今年6月は、我が国が国連の女性差別撤廃条約を批准してから、35年になります。

今、コロナ問題を背景にDVや子どもへの性的虐待は深刻度を増し、国連女性機関からも、そのことが指摘をされています。

そうした中、我が国の男女平等ランキングを示す「グローバル・ジェンダー・ギャップ指数（GGGI）」は、世界153か国中121位と、過去最低の順位となっています。

特にその中でも、政治分野の順位は、144位と下から10番目の位置にあります。

こうした著しい遅れの原因には、財界大企業のジェンダー差別を悪用した利潤第一主義や、戦前の男尊女卑、個人の国家への従属を当然視する、現政権の時代錯誤の逆行した考え方があります。

とりわけ、女性差別撤廃条約に批准しながら、その具体化である「選択議定書」に批准していません。

こうした状況から、脱却するためにも、「選択議定書」への批准は、最優先課題だと思います。早急に批准することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和2年6月26日

中 間 市 議 会

衆議院議長 大島 理森 様

参議院議長 山東 昭子 様

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

法務大臣 森 まさこ様

外務大臣 茂木 敏充 様